

社 会 (1まいめ)

1 日本の国土やまわりの国々について、あとの問いに答えなさい。

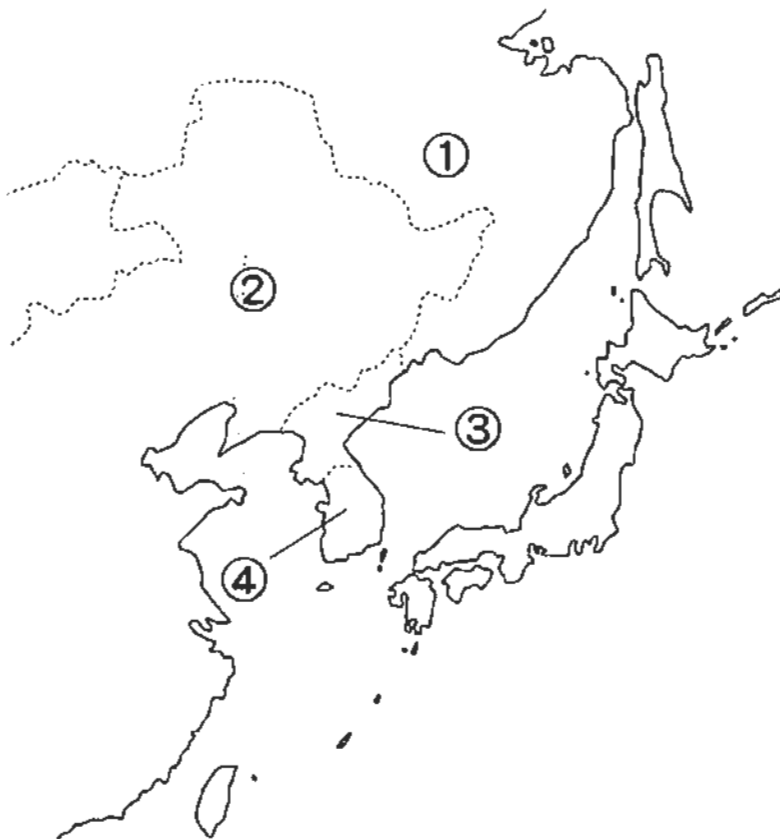
(1) 沖縄県おきなわについてのべた文のうち、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 台風が多いため、強い風にそなえたコンクリートづくりの住宅が多い。
 イ さとうきびづくりがさかんで、そのしぼりかすは肉牛のえさにも利用されている。
 ウ 降水量こうすいりょうが少ないために、住宅の屋上には水をためるタンクがよくみられる。
 エ むかし、琉球王国りゅうきゅうおうこくがあり、中国や東南アジアちゅうごく とうなんにでかけてさかんに貿易をしていた。

(2) 日本とまわりの国々のオリンピックについてのべた文のうち、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本は、1964年に東京で夏季オリンピックを開催し、2016年にもふたたび開催することが決まっている。
 イ 2008年8月、中華人民共和国の首都北京で夏季オリンピックが開催された。
 ウ 大韓民国だいかんみんこくは、1988年に夏季オリンピックを開催し、2002年には、日本と共にサッカーのワールドカップ大会も開催した。
 エ 朝鮮民主主義人民共和国ちょうせんみんしゅしゅぎじんみんきょうわこくは、夏季も冬季もオリンピックを開催したことはない。

(3) 地図をみて、日本のまわりの国々の名称と位置について、次のア～エから正しい組み合わせを一つ選び、記号で答えなさい。



- ア ①中華人民共和国 ②ロシア連邦れんぽう
 ③大韓民国 ④朝鮮民主主義人民共和国
 イ ①ロシア連邦 ②中華人民共和国
 ③朝鮮民主主義人民共和国 ④大韓民国
 ウ ①中華人民共和国 ②ロシア連邦
 ③朝鮮民主主義人民共和国 ④大韓民国
 エ ①ロシア連邦 ②中華人民共和国
 ③大韓民国 ④朝鮮民主主義人民共和国

社 会 (2まいめ)

- 2** 次の資料①は全工業生産額の多い上位5府県と少ない下位5県、資料②は機械工業生産額の多い上位5県をあらわしています。あとの問いに答えなさい。

資料① 全工業生産額上位5府県と下位5県

		全工業生産額
1	あいち 愛知	370155
2	かながわ 神奈川	186669
3	しずおか 静岡	168293
4	おおさか 大阪	162213
5	さいたま 埼玉	137125
43	あおもり 青森	12740
44	とっとり 鳥取	11178
45	しまね 島根	10497
46	こうち 高知	5570
47	おきなわ 沖縄	5193

(単位 億円)

資料② 機械工業生産額上位5県

		機械工業生産額
1	あいち 愛知	251892
2	かながわ 神奈川	94529
3	しずおか 静岡	91188
4	さいたま 埼玉	62967
5	ひょうご 兵庫	55736

(単位 億円)

経済産業省しらべ (2004年)

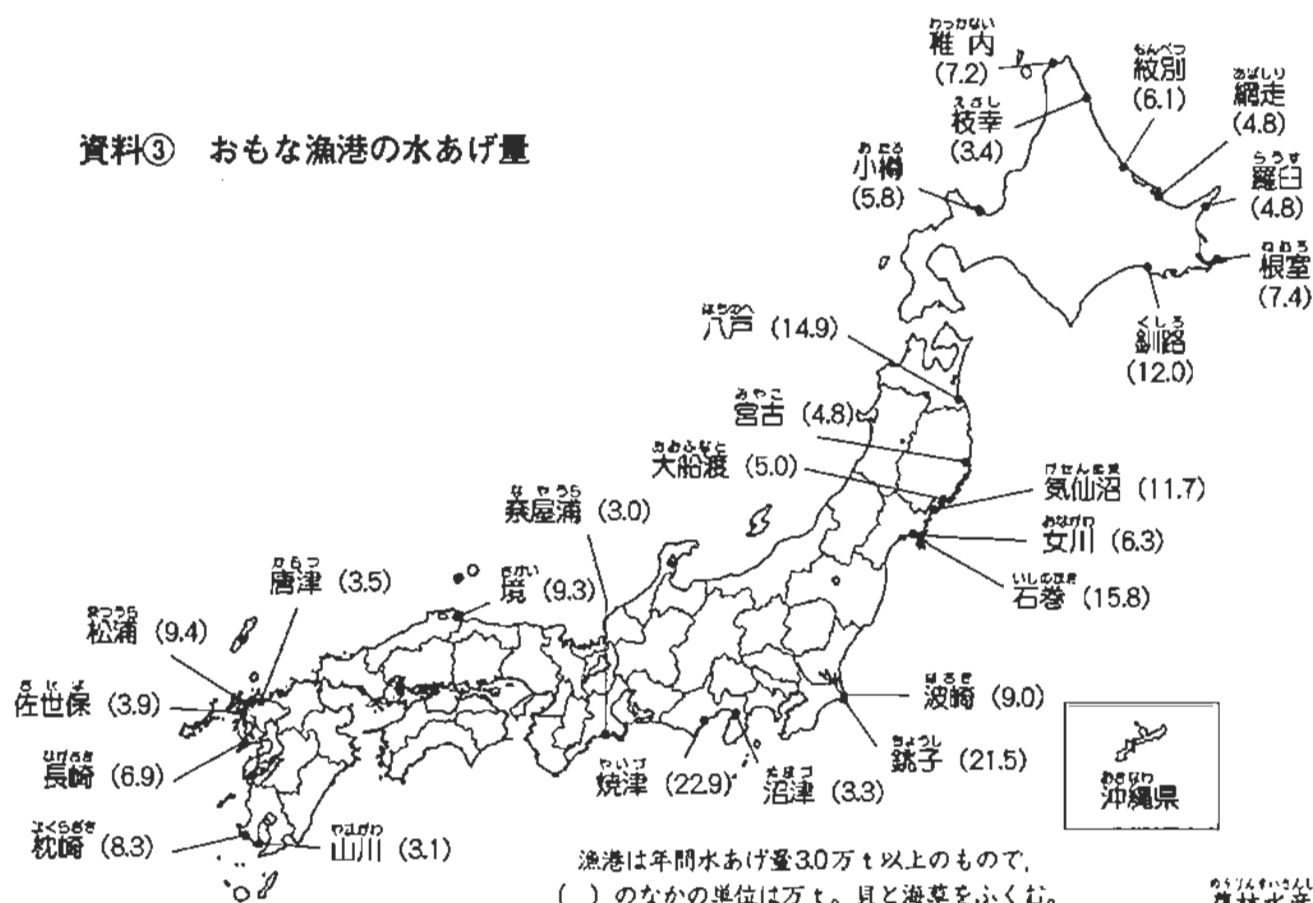
- 全工業生産額の多い上位5府県の中で、機械工業生産額が全工業生産額の半分以上をしめている府県の名前をすべて答えなさい。(漢字またはひらがなで)
- 全工業生産額が1兆円以下の府県はいくつあるか、数字で答えなさい。
- 全工業生産額の少ない下位5県の中で、本州にある県の名前をすべて答えなさい。(漢字またはひらがなで)
- 全工業生産額の多い上位5府県を地図に表したものとして、次の地図ア～エから正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。



社 会 (3 まいめ)

3 次の資料③～⑥は、日本の農業や漁業についてあらわしたものです。あとの問いに答えなさい。

資料③ おもな漁港の水あげ量



資料④ 魚種別水あげ量の多い漁港

まあじ		さば類		いわし		さんま		かつお (冷凍)	
漁港	千t	漁港	千t	漁港	千t	漁港	千t	漁港	千t
境	28.1	銚子	131.4	銚子	38.0	根室	51.2	焼津	148.8
松浦	27.5	波崎	56.4	波崎	33.3	女川	31.2	枕崎	34.6
長崎	14.3	松浦	51.7	石巻	10.8	釧路	29.6	石巻	29.2
唐津	13.8	石巻	42.7	計※	157.6	気仙沼	28.4	山川	25.6
計※	160.5	八戸	31.2			計※	226.9	女川	8.5
		計※	601.9					計※	248.4

計※…その他をふくむ

農林水産省調べ (2005年)

(1) 国土のまわりが海に囲まれている日本では、各地でさまざまな水産物がとれ、毎日の食生活にとって大切な食料となっています。資料③と④をみてわかることとして、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本海側の漁港では、まあじの水あげ量が多い。
- イ 水あげ量が2番目に多い銚子港は、さばといわしの水あげ量が多い。
- ウ さんまの水あげ量の多い漁港はすべて北海道にある。
- エ 水あげ量の一番多い焼津港の水あげ量の半分以上はかつおである。

(2) 水あげ量が10万トン以上の漁港のある青森県・岩手県・宮城県の間合は、よい漁場として知られています。その理由として、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 魚のえさとなるプランクトンが多い。
- イ 海岸から大きな大陸だなが広がっている。
- ウ いろいろな種類の魚がやってくる。
- エ 寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかっている。

社会 (4 まいめ)

(3) 資料⑤は日本の農作物別面積の割合、資料⑥は農産物別生産額の割合をあらわしています。グラフをみてわかることとして、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

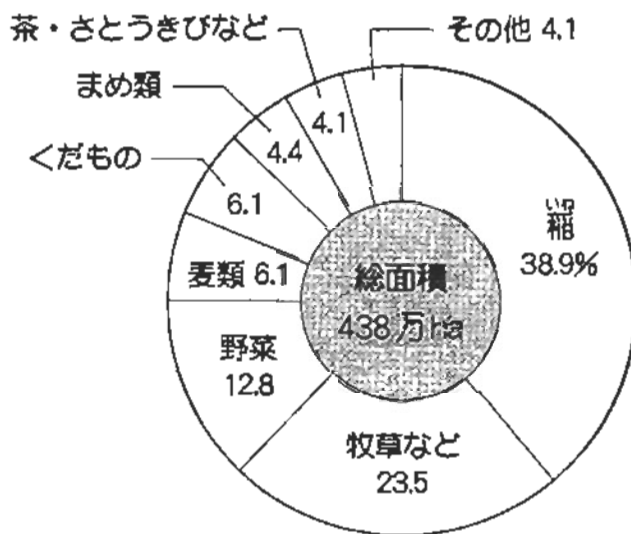
ア 面積では稲がもっとも広いが、生産額では米は第3位である。

イ もっとも生産額が多い農産物は畜産品であり、生産額は約2.5兆円である。

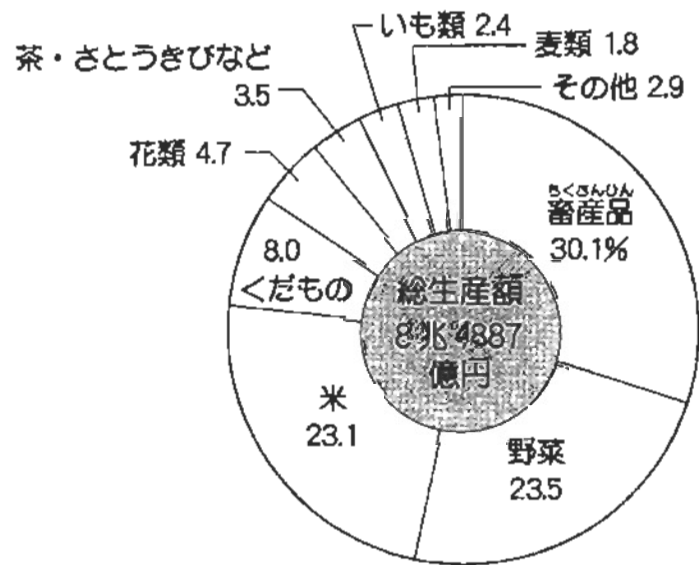
ウ 野菜は、面積では、全体の8分の1程度だが、生産額では全体の4分の1ちかくをしめている。

エ くだものと麦類の面積の割合は同じだが、生産額はくだもののほうが麦類の5倍以上多い。

資料⑤ 農作物別面積の割合



資料⑥ 農産物別生産額の割合



農林水産省調べ (2005年)

4 次のA～Dの文章は日本国憲法に定められている内容についてのべたものです。あとの問いに答えなさい。

- A 天皇は国や国民のまとまりの象徴（しるし）である
- B 国民は代表である国会議員を選び、政治に参加する
- C だれもが生まれながらに、人間らしく生きる権利をもっている
- D 国会の重要な仕事は国の政治の方針を決めることである

(1) Aの下線部「天皇」は、内閣がきめたことにもとづいてさまざまなことを行います。その内容として、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 国会を召集する

イ 衆議院を解散する

ウ 外国の大使などにあつて外国との間に条約をむすぶ

エ すぐれた行いをした人に文化勲章など栄典をあたえる

社 会 (5まいめ)

(2) Bについて、国民が選挙に参加できるようになった歴史についてのべた文として、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 明治時代のはじめのころ、国会をひらき、国民が選んだ国会議員によって政治をおこなうべきだとする自由民権運動がおこった。

イ 1890年に国会が初めて開かれたときの選挙は、一定の税金をおさめる25歳以上の男子だけに選挙権があたえられていた。

ウ 1925年に普通選挙法ができ、25歳以上のすべての国民が国会議員を選ぶことができるようになった。

エ 第二次世界大戦後になって、20歳以上のすべての国民が国会議員を選ぶことができるようになった。

(3) Cについて、憲法ではさまざまな権利とともに、国民が守らなければならない義務も定めています。次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 国民は、国民の生活を豊かにするためにつかわれる税金を納める義務がある。

イ 選挙権をもっている人は、投票にいく義務がある。

ウ 国民は、仕事をして働く権利があるとともに、働く義務がある。

エ 親は、子どもに教育をうけさせる義務がある。

(4) Dの下線部「国会」についてのべた文として、次のア～エからまちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 内閣総理大臣をやめさせる

イ 裁判官を裁く裁判所をつくる

ウ 衆議院と参議院からなり立っている

エ 法律案について話し合い、法律にするかどうかを決める

(5) 消費税の値上げについて、いろいろな意見が出されています。税の決め方についてのべた文章の、空らん(①)～(③)にあてはまることばの組み合わせとして、正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

国の政治のなかでは、税金の決め方について、「なにに税をかけるか」、「どのくらいかけるか」といったことは(①)で決めます。その税を「何にいくら使うか」という使い道については、毎年(②)が(③)を提案し、(①)が決定することになっています。

ア ①内閣 ②国会 ③法律

イ ①国会 ②内閣 ③予算

ウ ①内閣 ②国会 ③法律

エ ①国会 ②内閣 ③予算

社会 (6まいめ)

5 次の①～⑤の資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

- ① 一、農民が、刀、弓、やり、鉄砲などの武器を持つことをかたく禁止する。武器をたくわえ、年貢などを納めず、一揆をくわだてる者は罰する。
一、取りあげた刀は、新しく大仏をつくるためのくぎなどに役立てるから、仏のめぐみで、農民はこの世だけでなく、あの世までも救われることになる。

- ② 「仏教をますますさかんにし、人々を救うために、大仏をつくることを決心した。国じゅうの銅をつかって大仏をつくり、大きな山をくずして大仏殿を建てる。そうすることで、人々とともに、仏のめぐみを受けたいと思う。私は天下の富と力を独占している。この富と力で大仏をつくるのである。」

- ③ 第1条 人の和を大切にしなさい。
第2条 仏の教えをあつく敬いなさい。
第3条 天皇の命令には必ず従いなさい。
第12条 地方の役人は勝手にみつぎ物を取ってははいけません。

- ④ 「頼朝どのが平氏をほろぼして幕府を開いてから、そのご恩は、山よりも高く、海よりも深いほどです。ご恩に感じて名誉を大切にする武士ならば、よからぬ者をうちとり、幕府を守りましょう。」

- ⑤ 倭（日本）の国の王は、もとは男性がつとめた。したがえていたくにぐにが争いをおこし、戦いが続いたので、相談して、ある女性を王に立てた。この女性は、うらないをして、人々を引きつけるふしぎな力を持っていた。女王になってからは、ほとんど人に会わず、女の召使い1000人に、身の回りの世話をさせていた。また、宮殿、やぐら、さくのまわりには、いつも兵士がいて守っていた。女王は、中国に使いを送った。おくりものをしたお返しに、中国の皇帝は、この女王に倭王の称号をあたえ、織物や銅の鏡などを授けた。

(1) 資料①の命令を出した人物が、平定した国々で田畑の広さや土地のよしあし、耕している人などを調べたことをなんというか、漢字2字で答えなさい。

社 会 (7 まいめ)

(2) 資料②のことばをのべた人物が生きた時代について説明した、次のア～エから正しいものを一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 当時の日本の都である平安京は、中国の都を見習ってつくられた。国の政治を行う役所がおかれ、10万人の人々がくらす大きな都だった。

イ 都に住む人々のくらしを支えたのは、全国各地から届けられる生産物であった。都に運ばれるさまざまな品物には、どこの地域から運ばれたものかわかる、土偶とよばれる荷札がつけられていた。

ウ 各地の農民は、税として稲や地方の特産物をおさめたりするほかに、都の工事にかりだされたり、兵士として九州の守りにもつかなければならなかった。

エ 朝廷は日本の成り立ちを内外に示すため、「古事記」や「万葉集」といった歴史の本を完成させた。中には神話のようにすべてが真実ではないものもふくまれるが、国の成り立ちや当時の人の考え方を知る手がかりになる。

(3) 資料③の文書を出した人物についてのべた、次のア～エからまちがっているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 天皇中心の国づくりをめざして、藤原氏とともに政治の改革を進めた。

イ 家がらにとられずに、能力のある豪族を役人に取り立てるしくみをつくった。

ウ 法隆寺などの大きなお寺をたてて、仏教をさかんにしようとした。

エ 中国に小野妹子たちを送って、進んだ政治のしくみや文化を取り入れようとした。

(4) 資料④の「頼朝」が生きた時代について説明した、次のア～エからまちがっているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 伊豆に流されていた頼朝は、東日本の武士たちとともに、平氏をたおそうと兵をあげた。頼朝の弟らにひきいられた源氏の軍は、平氏との戦いに次々と勝ち、ついに壇ノ浦でほろぼした。

イ 頼朝は家来になった武士たちに、先祖からの領地の所有をみとめたり、手がらを立てた武士には、新しい領地をあたえた。このことをご恩という。

ウ 平氏をたおした頼朝は、1192年、武士のかしらとして朝廷から征夷大將軍に任命された。頼朝が開いた政府を鎌倉幕府という。

エ 家来となった武士たちは、戦いがおれば幕府のために戦い、戦いのない時には九州や京都を守る役をつとめた。これを奉公という。

(5) 資料⑤でのべている時代に関係する、次のア～オの写真のうち関係のないものを一つ選び、記号で答えなさい。

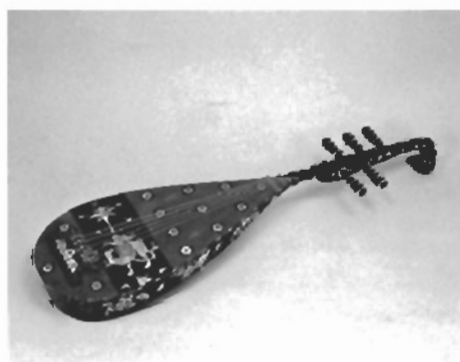
ア



イ



エ



オ



ウ



社 会 (8まいめ)

(6) 資料①～⑤を時代の古い順にならべかえた時、古い方から2番目と4番目にくるものを選び、それぞれ番号で答えなさい。

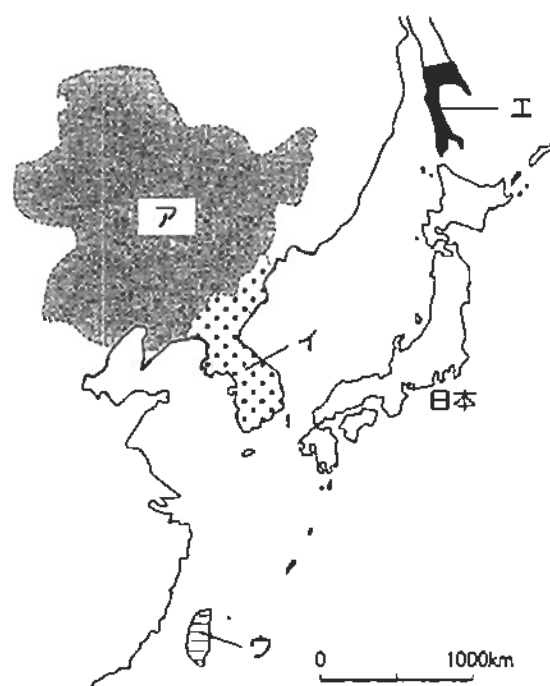
(7) (6) のように古い順にならべかえた時、次のできごとは①～⑤のどの時代の間におこったことか、直前と直後にくるものを選び、それぞれ番号で答えなさい。

雪舟は、水墨画のえがき方を中国にわたって学び、帰国してそれを日本風の様式に完成させた。

6 次の詩を読み、また、地図を見て、あとの問いに答えなさい。

あゝをとうとよ、君を泣く、
君死にたまふことなかれ。
末に生れし君なれば
親のなさはまさりしも、
親は刃をにぎらせて
人を殺せとをしへしや、
人を殺して死ねよとて
二十四までをそだてしや。(以下略)

[作・与謝野晶子]



(1) 上の詩は、ある戦争のさなかに発表されたものです。何という戦争の時か、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 太平洋戦争 イ 日露戦争 (日口戦争) ウ 満州事変 エ 日清戦争

(2) (1) の戦争の結果、日本が新たに手に入れた領土は、地図中のア～エのどれか、記号で答えなさい。

(3) (1) の戦争が終わったのち、日本が植民地とした地域について説明した次の文章を読み、その場所を地図中のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ここでは、多くの人が土地を失い、日本人のもとで小作人として働いたり、日本や、中国の東北部にわたって、鉱山などできびしい仕事についたりしなければならなかった。学校では、日本国民となるための教育が行われ、日本語や日本の地理・歴史が教えられた。一方、日本人の中にはこの地域の人々を軽視し、差別するまちがった考えが強まった。のちには、この地域の人々に対して、名前を日本式に変えることを強制したり、日本軍兵士として徴兵し、戦場にかり出したりした。